



青少年しまね

No. 105 令和6年(2024)3月

青少年育成島根県民会議

〒690-8501

松江市殿町1 県庁青少年家庭課内

TEL: (0852)-22-6255

FAX: (0852)-22-6045

HP: <https://www.shimane-youth.gr.jp>

Facebook: 「青少年育成島根県民会議」

Instagram: 「shimane.youth」

インスタフォローしてね!



～ こども・若者の居場所について考えよう! ～

令和5年度 青少年育成県民運動推進フォーラム

“地域で育む青少年の社会参画”をテーマに、青少年の主体的な活動を地域でどのように応援していくかを考えるきっかけとするために、標記フォーラムを開催しました。

期日：令和6年2月4日(日) 会場：ビッグハート出雲 白のホール(出雲市) 参加者：130名



実践発表

「スクールノマド(不登校児童・生徒)の現状とこれからのサポートについて」
しまね SCHOOL NOMAD COMMUNITY 代表 大國 貴之さん

学校が全てではなく子どもの意思を尊重した学びの場所を作りたいと、日々活動されている大國さん。「ノマド」とは「遊牧民」を意味する英語で、自由な働き方を指す言葉として広く使われるそうです。

不登校の原因は多様であり個別の事情に合わせたアプローチが必要であること、その事情を深く理解し個別のニーズに合わせたサポートが必要であること、家庭、学校だけではなく地域にたくさんの「居場所」があることが、子どもたちのサポートになること等、興味深いお話をたくさん伺うことができました。

パネルディスカッション

<テーマ>

こども・若者が安心して過ごせる「居場所づくり」に向けて
～居場所ってどんなところ?地域、大人、若者は何ができるの?～

<パネリスト>

大國 貴之さん(しまね SCHOOL NOMAD COMMUNITY・出雲市)

月橋 祐音さん(てごほ～む・出雲市)

高橋椿太郎さん(学び design・松江市)

荒木 天花さん(ワオ高等学校・出雲市)

金坂 風羽さん(居場所 café_place・松江市)

パネリストそれぞれの立場から「居場所」についてどう考えるか、体験談を交えてお話いただきました。

「今日はたかちゃん、つき一、しゅんちゃん、てんちゃん、ふうちゃんできいまーす!」と和やかな雰囲気始まり、不登校になったきっかけや、どんな思いで居場所を運営しているか、誰もが安心して過ごせる居場所の必要性等について議論しました。

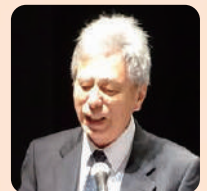
最後に、パネリストそれぞれが思う「居場所」について発表し、参加者の意見交換の時間に移りました。意見交換は、会場参加者同士で4～5名のグループを作りどのグループも熱心に意見交換をされていました。中には予定時間の20分を超えるほどに話が弾むグループもありました。その後の発表時間にはたくさんのグループが発表してくださり、会場全体で意見を共有できる良い会となりました。



司会: KEYS 藤原 睦己さん

開会挨拶: 高瀬副会長

閉会挨拶: 濱田出雲市民会議会長



参加者のアンケートより...

- ・実践発表で不登校の現状や問題点、社会の動きが把握出来て理解しやすかった。
- ・居場所についての具体的な素晴らしい取り組みを聞くことができ、何が大切かを会場全体で共有出来たのが良かった。
- ・居場所を提供しないと無いのかと少し寂しく思った。私たち大人はもっと子どもたちの未来や声を聞き考え行動する必要があると思った。
- ・ディスカッションしやすいように、パネルディスカッションが行われていたのかと思うほど、アットホームな良い会だった。
- ・誰でもどんな形であれ支援はできるということを知ったので、私に出来ることを考えてみたいと思う。
- ・不登校児童・生徒に対して積極的に関わろうとする若者、グループが県内にこんなにあることを知り希望を感じた。
- ・私たち地域の大人も色々な人とつながりながら、積極的に動いていかなばと励みになった。



令和5年度 少年の主張島根県大会

今回で52回を迎えた「少年の主張島根県大会」を令和5年9月28日（木）に江津市総合市民センターにおいて4年ぶりに対面で開催しました。この大会は、中学生が日頃、学校生活や日常生活の中での体験を通して考えたり感じたりしたことを発表するものです。県内約100校の中学校・特別支援学校から地区大会で代表に選ばれた16名が聴衆を前に堂々と発表しました。



（高瀬副会長）
発表者の皆さん、力いっぱい自分の思いを主張してください。大人の皆さん、中学生たちの発表を受け止め、全ての子どもや若者が、幸せに暮らせる社会の実現に向けた取組について考えてみてください。



（松本審査委員長）
どの発表者も堂々と発表され、猛練習した姿が目に見え、対面で中学生の声を生で聞くことができ、各々の主張に対して思いをはせることができました。改めて、人を前にして自分の思いを言葉で伝えたり聴いたりするコミュニケーションの大切さを感じました。



発表者16名・審査委員・来賓・主催者による集合写真

令和5年度 「少年の主張島根県大会」 審査結果表

賞名	演題	地区	学校名	学年	氏名
島根県知事賞	誰かの「自分らしさ」を支えるために（生き方）	雲南	雲南市立木次中学校	3	高橋りりあ
島根県教育委員会教育長賞	?（え）を！（あー）に変える私の工夫（自己理解の大切さ）	隠岐	知夫村立知夫中学校	2	清水ひまり
島根県警察本部長賞	熱くなれ！私（地域・社会）	仁多	奥出雲町立横田中学校	3	安川結月
青少年育成島根県民会議会長賞	私の存在証明（生き方）	飯石	飯南町立赤来中学校	3	澤田煌明
審査委員特別賞	あなたの「好き」も教えてください！（相互理解）	松江	島根大学教育学部附属義務教育学校	8	片岡睦深
//	伝える勇気、伝える思い（生き方）	安来	安来市立伯太中学校	1	柁瀬桃乃
優秀賞	変わらないもの（地域社会）	江津	江津市立桜江中学校	2	升本樹希
//	取り扱い注意中（家族との関わり）	出雲	出雲市立湖陵中学校	2	馬庭絆有來
//	歌がもつ力（生きる力）	松江	松江市立第四中学校	3	山本楓花
//	八文字で伝える気持ち（家族）	出雲	出雲市立平田中学校	3	榎谷陽菜
//	どう思う？どうしたい？（自己改革）	益田	益田市立小野中学校	3	斎藤来羽
//	思いやりのある会話（社会福祉）	浜田	浜田市立金城中学校	2	花田愛実
//	主人公（どう生きるか）	鹿足	吉賀町立六日市中学校	3	長藤伊織
//	応援の力（人とのかかわり）	邑智	邑南町立石見中学校	2	三浦萌衣
//	当たり前にありがとう（感謝の気持ち）	江津	江津市立江東中学校	3	安部愛美
//	一つの灯火（反戦・生命）	大田	大田市立大田西中学校	1	辻湖乃美

審査委員特別賞と優秀賞は発表順で掲載しています。

審査委員

松本 英史（元山陰中央新報論説委員長）
前田 幸二（島根日日新聞社論説委員）
上田いずみ（島根県警察本部少年女性対策課課長補佐）
永安 裕子（島根県教育庁浜田教育事務所指導主事）

井上 和子（江津市青少年健全育成協議会副会長）
佐々木勝二（江津市教育委員会教育委員）
舟木 志郎（江津市小学校長会長）



大会報告書（文集）

島根県知事賞

中国・四国ブロック代表として、11月12日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開催された全国大会に出場し、奨励賞を受賞されました。



誰かの「自分らしさ」を支えるために

雲南市立木次中学校 3年 高橋 りりあ さん

「かわいそう」と私が何気なく発している言葉は本当にその人の心に寄り添っているのだろうか。ヘアドネーションについて知るうちに私の中に疑問が生まれました。

小学3年生の秋、私は、科学作品展の展示物でヘアドネーションを知りました。ヘアドネーションとは、病気や事故などによって髪を失った子ども達のために寄付された髪の毛を使ってウィッグを作成し、無償で提供する活動のことです。ウィッグが必要な子ども達がいると聞いたとき、まず私は、髪がなくて「かわいそう」だから、協力したい、協力することで、みんなが幸せになると考えました。切ってしまったらゴミでしかない髪の毛が、知らない誰かを笑顔に出来るプレゼントになるのです。そこで、3年かけて、ヘアドネーションの規定である31センチ以上に伸ばした髪を、小学校卒業を機に切って、ウィッグを作成している団体へ送りました。その時は、大切に伸ばしてきた髪の毛がやっと誰かのためになる、人のために行動ができたという、うれしさと達成感に包まれました。

しかし、同時に、なぜウィッグを被るのだろうかという思いもありました。ヘアドネーションについてさらに調べるうちに、病気や事故などによって髪を失うことは誰にでも起こりうることだと知りました。もし、私が同じ立場になったら、どのように接してほしいだろうか。そう考えて初めて「かわいそう」という言葉は、なんだか他人事で自分たちとは違う存在と言われているような心がチクとする言葉だと感じました。また、「髪はあるほうがいい」という考えが前提にあるこの言葉は、髪を失った自分自身を否定されているようにも感じると思いました。「周りと違ってかわいそうと思われたくない」その気持ちから私だったら、ウィッグを被ることを選択します。私が、何気なく思っていた「かわいそう」という言葉は、自分が当事者であればかけてほしくない言葉だったのです。

私は、ヘアドネーションに取り組んだことで、心の根っこに「人と違うことは恥ずかしいことだ、人と同じであるのがよいことだ」という思い込みがあったことに気づくことができました。ウィッグを被っている人の中には、周りの人から「かわいそうな存在」「自分たちとは違う」そう思われたくないという気持ちから被っている人もいるのではないかと、もしかしたらヘアドネーションが必要とされる背景には、社会の中に「周りと同じにしなければならない」という雰囲気があるのかもしれないと考えました。もし周りとは違う立場になった時に、周りに合わせる努力をしなければ生活しにくかったら、悲しく生きづらと思います。ウィッグを被りたくない人は人の目を気にせず、ありのままであって、ウィッグを被っていた方が自分らしく過ごせる人はウィッグを被る。ヘアドネーションは、周りに合わせるためではなく、自分らしさを支えるためのものであってほしいと思います。

私は今、2回目のヘアドネーションに向けて髪を大切に伸ばしています。誰かを笑顔にしたいという気持ちは小学生のころから変わっていません。しかし、昔のように「かわいそうだから」ではありません。「誰かの自分らしさを支えたい」という思いで伸ばし、規定の31センチを超えました。31センチの髪の毛は、ショートヘアのウィッグになるそうです。そこで、次はロングヘアのウィッグが届けられるよう、高校卒業まで伸ばそうと決めました。

ヘアドネーションを通して、人には、いろいろな在り方や事情があり、それぞれの人が、様々な思いを抱いて生きているということを学びました。だから私は、これからもっとたくさんのことを学び、相手の思いや背景に目を向け、その人らしさを支えられるようになりたい。そして、誰もが生きやすい社会にしたい。大きな願いではあるけれど、自分にできる小さな一歩から行動していきます。

青少年育成島根県民会議表彰

地域社会で優れた活動をする青少年個人・団体や、青少年の健全な育成に寄与し、顕著な功績をあげ他の模範となる指導者等を表彰しました。受賞者のみなさま、おめでとうございます！

【青少年団体・グループの部 1 団体】

特定非営利活動法人KEYS(松江市)

【青少年指導者の部 10名】

佐藤 誠 様 (松江市)	吉部 洋子 様 (益田市)
津森 正二 様 (松江市)	木口 元子 様 (安来市)
若菜 洋子 様 (浜田市)	野海 豊 様 (江津市)
豊田 実 様 (益田市)	柳光 明彦 様 (江津市)
福原 裕 様 (益田市)	吉岡 知幸 様 (津和野町)



しまニッコ!

スマイルで声かけあい県民運動

「しまニッコ! (スマイルで声かけあい) 県民運動」は、家庭・学校・地域・職場で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

各市町村民会議の取組 (主なもの) をご紹介します!

県内の市町村民会議では、11月を「しまニッコ! 県民運動強調月間」として取り組みを行いました。

松江市青少年育成連絡協議会

- 中央小学校で登下校時に通学路や自宅の前などであいさつ運動を行いました。また、毎週火・金曜日の下校時に青色回転灯装着車で地区内を回り自主防犯パトロールや見守り活動を行いました。
- 法吉公民館内にのぼり旗を掲揚し、来館者へポケットティッシュを配布し、運動を周知しました。

青少年育成三隅町民会議

- 町内のスーパーマーケットで役員がチラシ・ティッシュを配布しながらあいさつ声かけ、啓発活動を行いました。

出雲市青少年育成市民会議

- 出雲市青少年育成推進大会のプログラムに「しまニッコ! 県民運動」「サポーターズ募集」について掲載しました。

益田市青少年育成市民会議

- 益田地区つろうて子育て協議会では、「一斉あいさつ運動の日」を設け、あいさつの飛び交う安心安全な町づくりを目指し、小中学生の登校時間に合わせて、家や職場の前・通学路等でのあいさつ運動を行いました。
- 鎌手地区青少年育成協議会では、協議会会員、地区小学校長、地区駐在所勤務員、ボランティアが小学校通学路において「笑顔でのあいさつ」「声かけ」運動を行いました。
- 西益田地区青少年育成協議会では、毎月5日に地域の方があいさつ運動を行っています。11月には地域の中学生が中心となり、大人と協力して「西益田 灯火祭」を開催しました。来場者総勢1,000人が出店やスタンプラリー、ランタンづくりで交流し、多くの笑顔で活気あふれるイベントとなりました。
- 都茂地区青少年育成協議会では、地域の小中学校前での児童生徒によるあいさつ運動や「まちかど声かけ隊」の会員10名が小学生と一緒に登校しました。

大田市青少年育成市民会議

- 市役所駐車場に「しまニッコ! のぼり旗」を設置し、啓発しました。

雲南市青少年健全育成協議会

- 市教育委員会で職場体験を希望した生徒に「しまニッコ! 運動」のPRポスターを作成してもらい、ポスターを市役所ロビーへ掲示、市公式LINE・Facebookへ掲載しました。

青少年育成奥出雲町民会議

- 「しまニッコ! 運動」について、町内文字放送、告知放送を行ったほか、のぼり旗を設置しました。また、町内9つの公民館では、ポケットティッシュやチラシを設置し、啓発しました。

川本町青少年育成町民会議

- 町内8カ所でのぼり旗を立ててあいさつ運動を行いました。

青少年育成美郷町民会議

- 大和小学校・中学校の登校時に立哨、あいさつ運動を行いました。

吉賀町青少年健全育成推進協議会

- 町内5公民館において、のぼり旗の設置やチラシの配布を行いました。

西ノ島町

- 役場掲示板にチラシを掲示し、啓発しました。

知夫村青少年健全育成村民会議

- 村内イベントでチラシを配布し、啓発しました。



西益田地区のあいさつ運動の様子



雲南市役所ロビーでの啓発の様子 (左)
中学生が作成したPRポスター (右)

しまニッコ!

サポーターズ活動紹介

私たちがサポーターズとして活動しています!



しまニッコ! 県民運動を県内各地に広げるため、家庭や学校、地域や職場での推進役となるサポーターを募集しています。現在の登録者数は3,991人(令和6年2月末現在)
大人だけでなく、子どもも登録できます。また、地域団体・学校・職場単位での登録もできます。
みんなで笑顔で声をかけあい、コミュニケーションを増やしましょう!

日本生命保険相互会社 松江支社

当支社では、島根県の皆さんが安心して、生き活きと暮らせるように、地域に根差した取組を大切にしています。そのため、がん検診受診のご案内や、島根県と協力し認知症に関するアンケート調査など、日々、島根県の皆さんにお声かけをしています。

2023年4月に「しまニッコ! 県民運動」を知り、その趣旨に共感し、現在は松江支社の全職員がしまニッコ! サポーターとしてバッジを着用して、日々お会いするお客様や地域の皆さんに、明るく笑顔であいさつをすることを心がけています。

お会いするお客様や地域の皆さんも笑顔で返事をくださり、多くの方がこの取組に共感してくださいます。今後も職員全員でこの運動を推進していきます。



▼ご登録はこちらから(Googleフォーム)▼



個人登録用

(個人・サークル等10人までの登録)



まるとご登録用

(会社・学校等10人以上の登録)

登録したら、サポーターズカードやバッジを身に着けて笑顔で声かけ!
あなたの周りで「しまニッコ! 運動」を広げていきましょう!
SNSで活動を発信するときは「#しまニッコ!」



第22回 子育て 子育て ことのは大賞

「ことのは」とは…

子育てや子ども、家族に関する楽しさやうれしさ、感動などきらりと光るひとことで表した言葉のことです。今年度は全国から4,882通の応募がありました。県民会議では県子ども・子育て支援課が行う「ことのは大賞」事業を共催しています。[表彰式：令和6年2月10日(土) 於 サンラポーむらくも(松江市)]

◆一般の部・会長賞

子を授かることができず、泣き暮らしていた私に夫が一言。
「二人だけでも、家族だよ。」

(東京都 萩谷 佳代子 さん)

◆こころの部・会長賞

保健室の先生、毎朝教室までついてきてくれてありがとう

(島根県 小野 虹美 さん)



令和5年度 全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表島根県大会

令和5年度全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表島根県大会が令和5年10月12日（木）宍道高校で開催され、県内の高校定時制通信制に通う生徒9名が、学校生活や日常生活を通して感じた思いを自分の言葉で堂々と発表しました。県代表になった浜田高校通信制の原田さんは、11月19日（日）に東京都で開催された全国大会で、石澤奨学会賞を受賞されました。おめでとうございます。



1位
浜田高校（通信制）
原田 蓮音菜

「社会の中の私」 浜田高校（通信制） 原田 蓮音菜

皆さんにとって、社会とは何でしょうか。言葉は知っていても、実際に聞かれたらぱっと答えられない人も多いのではないのでしょうか。「社会」を辞書で引くと、「人々が集まって作り上げる共同生活の集団」と書いてありました。人間は社会的動物だといわれるように、一人で生きていくことが非常に難しい生き物です。つまり、私たちが生きる上で社会というのは必然的で不可避な存在であるのです。そんな社会と、その中で生きる私について少し話していきたいと思います。

私は去年まで、全日制の高校に通っていました。部活に入らなかった私にとっては、勉強と学級生活が学校のすべてでした。授業を真剣に受け、課題を真面目にこなし、テストでいい点を取る。クラスメイトとは仲良くして、授業時間以外の自分の居場所をつくる。入学したばかりのころはこれだけでも自分は理想の高校生活を送れると思っていました。実際、成績は良い方でしたし、高校に入ってから新しい友達もできました。ですが、半年、一年と時間が経つにつれて、どうして私はいい成績のためにこんな辛い思いをしてまで自分を追い込んでいるのだろうか、どうして自分の居場所のために無理に周りに合わせたり気を使ったりしているのだろうか、自分のしていることが何のためなのか分からなくなってきました。そうして、勉強を頑張る意味も学校に通う意味も見失ってしまった私は、高校三年生から通信制に入ることにしました。

通信制に入ってから、私の生活はがらっと変わりました。テストでいい点をとるために頑張っていた勉強は、卒業するために必要なものへ変わりました。また、無理をして自分の居場所を作る必要がなくなり、その代わりに家族と話す時間が増えました。そして、私にとって一番大きな変化となったのは、色々な人との出会いでした。

通信制の生徒には持病を抱えながら勉強を頑張る方や育児をしながら学校に通っている方がいます。通信制に入ったことをきっかけにはじめたアルバイト先には、トリプルワークで一日も休まずに働く方や、ベトナムにいる家族のために日本で働く方、親の介護のために正社員をやめてアルバイトで働く方などがあります。今まで出会ってこなかったような人たちと出会い、今までの自分には見えなかった世界が一気に見えてくるようになりました。そして、今まで自分にとってすべてだと思い込んでいた学校やクラスというのは、似たような人たちが集まる小さな社会の一つに過ぎないのだということに気付かされました。

「高校生なのに、今日学校はないの？」

通信制に通い始めた時は、普通の高校生になれなかったことを実感させられるこの質問がとても嫌いでした。世間には色々な人がいるのだということは、もちろん以前の私も知っていました。色々な人がいるから自分が周りと違っていても問題はない、ということも頭では理解していました。でも心のどこかで周りや自分を否定している自分がいたのです。実際に色々な人と出会ったことによって、私は「こんな人もいるんだ」と他人のことを肯定できるようになり、劣等感を抱いていた自分自身のことでもだんだんと肯定できるようになりました。今でも、自分が通っていた高校の制服を見かけると胸がきゅっと苦しくなることがあります。それでも、私はこのままでも大丈夫、と少しずつ前を向けるようになりました。通信制での出会いやアルバイト先での出会いが、私を成長させてくれたのだと思います。

通信制に入って、小さな社会から一歩踏み出し、人と違っていてもいいと自分を肯定できた私は、困っている人を支えることができる仕事をしたという夢を持つようになりました。そして、この先過去の私と同じように小さな社会の中で行き詰まって苦しんでいる人ともし出会ったら、自分が今見えている社会が全てじゃないし、世界はもっと広いから大丈夫だよ、と言ってあげたいのです。言葉だけでその人を救うことが出来るとは思っていません。でも色々な人との出会いが私を変えてくれたように、私との出会いで、その人が一歩踏み出せたら、そんな助けになれたらいいなと思います。

人は社会の中で生きていくしかない存在です。私もまたこの先、小さな社会の中で悩み苦しむ時がくるかもしれません。そんな時私は「今いる社会が全てじゃない。周りや違って大丈夫。私は私のままで大丈夫。」そう自分に言い聞かせ、進んでいきたいと思っています。



2位
「365日、365チャンス」
宍道高校（定時制1年次）
都築 ヤナ



3位
「伝えたいこと
～過去の自分へ～」
宍道高校（定時制3年次）
田部 苺亜

会員・賛助会員 を募集しています！

青少年育成活動にあなただけのご支援をお願いします。島根県の青少年の健やかな成長を応援しませんか？

青少年育成島根県民会議は昭和41年設立された県民総参加による青少年育成を目指す団体です。活動は主に会員、賛助会員の皆様のおかげにより行っています。県民会議の趣旨にご賛同いただける団体、企業、個人様のご入会をお待ちしています。

◆入会手続き

県民会議ホームページの入会申込フォームに必要事項をご入力ください。受付後、改めてご連絡致します。
URL : <https://www.shimane-youth.gr.jp/member> または右記二次元コードよりアクセスしてください。→

会 員 青少年育成活動を支援し、推進していただける方（総会での議決権があります）

年会費（企業・団体・個人）一口5,000円（一口以上）

賛助会員 青少年育成活動に関心があり、資金面で支援をいただける方（総会での議決権はありません）

年会費（企業・団体）一口5,000円（一口以上） 年会費（個人）一口1,000円（一口以上）

◆年会費入金方法 ※勝手ながら、振込手数料は振込者様のご負担をお願いします

山陰合同銀行口座へのご入金

支店名：県庁支店 □口座番号：（普通）2059687 □口座名義：青少年育成島根県民会議



会員・賛助会員のみなさま (令和6年2月末現在)

当会の活動に賛同され、ご支援・ご協力をいただいている会員・賛助会員の皆様をご紹介します。
温かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※今年度の会費納入時に掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています (敬称省略)

◆令和5年度 新規会員

会員【その他の団体】 公益財団法人 島根県暴力追放県民センター【個人】 岩崎 靖/安野 洋

賛助会員【個人】 秋月広美/石原弘之/伊藤尚史/井上慎二/小野樹里/遠藤淳生/河原淳子/坂根昌宏/須山健太/高橋隆子/瀧野信一/武上武志/玉木陽子/土井 史/角森浩一郎/永田 淳/長崎康弘/長谷川利寿/濱村美保/本郷範善/松原典生/松本洋和/三浦雄一郎/森本敬史

◆既存会員

会員【青少年育成市町村民会議】 松江市青少年育成連絡協議会/出雲市青少年育成市民会議/益田市青少年育成市民会議/大田市青少年育成市民会議/安来市青少年育成連絡協議会/江津市青少年健全育成協議会/雲南市青少年健全育成協議会/青少年育成出雲町民会議/飯南町青少年育成協議会/川本町青少年育成町民会議/青少年育成美郷町民会議/青少年育成邑南町民会議/津和野町青少年育成連絡協議会/吉賀町青少年健全育成協議会/海士町青少年問題協議会/西ノ島町要保護児童対策地域協議会/知夫村青少年健全育成推進協議会/隠岐の島町まちづくり運動協議会【青少年育成関係団体】 八雲青少年育成の会/浜田青少年健全育成推進協議会/金城地域青少年健全育成連絡協議会/青少年育成三隅町民会議/島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会/出雲いのちを考える懇談会/一般財団法人 島根青年館/一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会/益田市母子会連合会/NPO法人 緑と水の連絡協議会/公益社団法人 松江青年会議所/国際ネットワークしまね/国立三瓶青少年交流の家/子どものすこやかな成長を願う会/更生保護法人 島根保護観察協会/島根県更生保護女性連盟/松江地区更生保護女性会/佐田地区更生保護女性会/斐川地区更生保護女性会/益田市更生保護女性会/伯太地区更生保護女性会/江津市更生保護女性会/島根県公民館連絡協議会/島根県里親会/島根県児童入所施設協議会/島根県少年補導委員連絡協議会/島根県人権擁護委員連合会/島根県身体障害者団体連合会/島根県弁護士会/島根県保育協議会/島根県保護司会連合会/島根県民生児童委員協議会/大田市民生児童委員協議会/川本町民生児童委員協議会/島根県レクリエーション協会/社会福祉法人 島根いのちの電話/社会福祉法人 島根県社会福祉協議会/国富地区社会福祉協議会/吉賀町社会福祉協議会/社会福祉法人 島根県社会福祉事業団/日本赤十字社島根県支部/松江刑務所教諭師会【青少年団体】 ガールスカウト島根県連盟/日本ボーイスカウト島根連盟【教育関係団体】 大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科/公益財団法人 島根県学校給食会/公立大学法人 島根県立大学/島根県学校栄養士会/島根県学校保健会/島根県高等学校定時制通信制教育振興会/島根県公立高等学校長協会/島根県私立高等学校長会/島根県中学校長会/島根県小学校長会/島根県国公立幼稚園・子ども園長会/島根県PTA連合会/島根県高等学校PTA連合会/島根県私立中学高等学校PTA連合会/島根県特別支援学校PTA連合会/島根県幼稚園・こども園PTA連合会/島根県子ども会連合会【体育スポーツ関係団体】 公益財団法人 島根県スポーツ協会/島根県高等学校体育連盟/島根県中学校体育連盟/島根県小学校体育連盟【報道機関】 NHK松江放送局/株式会社 山陰中央新報社/株式会社 山陰放送【医療機関】 医療法人社団 吉田医院/医療法人正光会 松ヶ丘病院/佐貫内科医院【企業】 株式会社 渡部特殊土木/西日本旅客鉄道株式会社山陰支社/有限会社 福岡工務店/有限会社 松本印刷【その他の団体】 出雲たばこ販売協同組合/一般財団法人 島根県交通安全協会/公益財団法人 島根県老人クラブ連合会/公益社団法人 島根県防犯連合会/山陰合同銀行砂子寮町内会/島根県カラオケスタジオ防犯協力会/島根県写真家協会/島根県商工会議所連合会/島根県商工会連合会/島根県書店商業組合/島根県農業協同組合中央会/島根県遊技業協同組合/島根県旅館ホテル生活衛生同業組合/島根県連合婦人会/浜田ライオンズクラブ/出雲中央ライオンズクラブ/平田ライオンズクラブ/木次ライオンズクラブ/仁多ライオンズクラブ/赤来ライオンズクラブ/頓原ライオンズクラブ/出雲オータリークラブ/浜田オータリークラブ【個人】 石田侑生/後藤 耕/高瀬寿子/高橋憲二/田中藤一郎/中田朋子/林 和博/深田 明/藤原恵子/吉岡弘恵/吉田卓矢/吉長義親/和崎悦子【青少年育成関係機関】 松江少年鑑別所/松江保護観察所/松江家庭裁判所/島根県/島根県教育委員会/島根県警察本部/島根県市長会/島根県町村会

賛助会員【青少年育成関係団体】 出雲更生保護女性会/松江地区保護司会/出雲地区保護司会/益田地区保護司会/安来地区保護司会/邑智地区保護司会/松江市民生児童委員協議会連合会/浜田市民生児童委員協議会/出雲市大津地区民生児童委員協議会/出雲市大社地区民生児童委員協議会/佐田地区民生委員児童委員協議会/神西地区民生委員児童委員協議会/多伎地区民生委員児童委員協議会/東地区民生児童委員協議会/益田市民生児童委員協議会/江津市民生児童委員協議会/知夫村民生児童委員協議会【教育関係団体】 隠岐島前高等学校交流会/島根県立宍道高等学校【報道機関】 山陰中央テレビジョン放送株式会社【医療機関】 医療法人 伊藤医院/医療法人 船津内科医院/医療法人 秦医院/医療法人 マザリー産科婦人科医院/医療法人 山尾医院/小竹原医院/小林病院/津田医院/社会医療法人清和会 西川病院/古瀬医院【寺社】 出雲大社/岩屋寺/永昌寺/観音寺/観心寺/熊野大社/源光寺/弘長寺/島根県神社庁/宗教法人 清水寺/宗教法人 玉林寺/宗教法人 十楽寺/宗淵寺/正覚寺/正善寺/禅覚寺/善道寺/松源寺/浄心寺/常教寺/常徳寺/常楽寺/全龍寺/曹洞宗島根県第二宗務所/仲仙寺/梅窓院/遍照寺/法雲寺/本願寺/萬行寺/萬松院/御井神社/美保神社社務所/妙義寺/妙法寺【企業】 イステック株式会社/出雲造機株式会社/今岡工業株式会社/雲南建設株式会社/大田生コンクリート株式会社/隠岐汽船株式会社/開盛建設株式会社/株式会社今井書店/株式会社植田建設/株式会社ウエヤマ/株式会社ウシオ/株式会社内村電機工務店/株式会社大島工務所/株式会社オブジェクト/株式会社香り芽本舗/株式会社キムラ/株式会社クリアプラス/株式会社グリーンシティー/株式会社後藤建設/株式会社佐々木組/株式会社佐藤組/株式会社山陰合同銀行/株式会社三栄/株式会社サンクラフト/株式会社島根銀行本店/株式会社島根マツダ/株式会社第一ホーム/株式会社太陽建設コンサルタント/株式会社都蘭土建/株式会社トガノ建設/株式会社内藤組/株式会社中筋組/株式会社原工務所/株式会社深田建設/株式会社堀工務店/株式会社松文オプテック/株式会社みしまや/株式会社宮本会計事務所/株式会社もちだ園芸/株式会社守谷刃物研究所/株式会社山口商店/株式会社山本組/株式会社ユニコン/株式会社岩多屋/株式会社豊洋/株式会社ホテル一畑/株式会社マツケイ/株式会社吉崎工務店/企業警備保障株式会社/クリッパ/湖北ベニヤ株式会社/五共木材株式会社/山陰コボタ水道用材株式会社/山陰建設工業株式会社/山陰水道工業株式会社/三瓶生コン株式会社/島根交通機材株式会社/島根自動機株式会社/しまね信用金庫/島根電工株式会社/正栄工業株式会社/須佐チップ工業株式会社/第一建設株式会社/第一建設工業株式会社/大軌建設株式会社/中国道路株式会社/中国労働金庫北部エリア営業本部/中浦食品株式会社/日本生命保険相互会社松江支社/浜田港運株式会社/飯古建設有限公司/平井建設株式会社/福岡商事株式会社/北陽警備保障株式会社/北陽ビル管理株式会社/本藤建工株式会社/まるなか建設株式会社/明和印刷有限公司/森脇総理工事事務所/有限会社小川商店/有限会社小川野工業/有限会社オリエント工芸社/有限会社角田商店/有限会社かわせ美容室/有限会社黒潮社/有限会社島根ボーク/有限会社高浜印刷/有限会社福井建設/有限会社松江自動車用品商会/有限会社山田土木/和幸株式会社【その他の団体】 一般社団法人 島根県物産協会/公益社団法人 島根県トラック協会/生活協同組合しまね/島根県学校生活協同組合/島根県酒造組合/松江地区防犯協会/浜田市防犯協会/松江ライオンズクラブ/松江葵ライオンズクラブ/松江湖城ライオンズクラブ/瑞穂ライオンズクラブ【個人】 青木志保/朝山浩行/安食治外/安達博之/安達 庸/飯岡秀忠/池田昂志/伊藤敏成/今岡重之/岩崎拓治/岩本昭徳/岩元敏子/植田麻美/内田陽太/大賀幸恵/大場尚樹/落合由美/景山佳奈子/笠田 守/梶谷美鈴/川瀬順子/北島建孝/河野正人/神門洋子/甲山美紀恵/信太秀夫/庄司俊朗/昌子 裕/宍道正年/須山美玲/曾田彰二/曾田紀子/園山裕之/高倉和夫/高橋 博/立石典夫/田原邦子/辻 まゆみ/出来山大介/寺本哲治/寺本年生/富田真澄/内藤高彰/仲佐英哲/中島英二/中林 豊/中村祥江/野津久美子/野津雅史/蓮岡法暉/羽根田 崇/羽部睦子/曳野晃夫/樋口政弘/久野美樹/深田 新/福島章洋/福岡祐介/堀江隆典/本藤英満/松浦香代子/松田英治/宮阪敏章/村松敦子/森山真治/八束政義/山崎康孝/山本洋洋子/両見信宏/分石由紀江

令和5年度 青少年の主体的な活動支援事業 助成団体事業紹介

この事業は、県民会議の活動に賛同し、推進していこうとする青少年自身や大人、それらに関わる団体が、青少年の主体的な活動やその支援、継続的に青少年の居場所を開設している団体に対して助成し、その成果を県内に広報することで青少年の地域活動の普及・啓発を図ることを目的とした事業です。令和5年度は「青少年地域活動チャレンジ支援事業」3団体、「青少年の居場所支援事業」2団体に助成しました。

◆青少年地域活動チャレンジ支援事業

青少年地域活動チャレンジ支援事業は、青少年の主体的な活動やその活動を支援する大人の支援体制づくりへの助成です。

情報科学高等学校で遊ぼう学ぼう講座班（安来市）

事業名：情報科学高等学校で遊ぼう学ぼう講座

「情報科学高校で遊ぼう学ぼう講座」は、高校生が講師やサポートスタッフとなり、地域の小中学生に動画編集やプログラミングなどを体験してもらう講座です。今年度は6月から10月までの休日に各1回実施し、3月にも開催予定です。夏休みには、松江市の川津公民館出張講座も行いました。参加者からは、「丁寧に教えてくれて分かりやすかった、次回も楽しみにしています」などの感想をいただきました。講座は、3年生の13人が中心となって企画、広告、スタッフ教育、運営などをすべて行います。各小中学校へのチラシ配布は、その学校の卒業生が行きます。この講座を通して小中学生に楽しんでもらい、ICTに興味を持ってもらうこと、そして高校生自身のコミュニケーション能力、臨機応変に対応する能力を磨くことができます。



一般社団法人 学び design（松江市）

事業名：好気心 Lab.

好気心 Lab.は小学生から高校生が集まり、ボードゲームやものづくり、アートなどの多面的な活動を通して、子どもの好奇心を高める活動をしています。最近、高校生が小学生をサポートする姿も見られ、より良いコミュニティになっています。

利用者からは、「ボードゲームやアートを通してコミュニケーションが自然にとれるので、初めてでも安心して参加できる」や、保護者からは、「家ではゲームばかりなので、いろんな遊びができて良い」といった感想をいただいています。引き続き、子どもたちの表現力や創造力を高める活動を心掛けながら活動を進めていきます。



吉田地区自治協議会（益田市）

事業名：吉田地区未来づくりプロジェクト

吉田地区自治協議会では、小中学生の地域活動団体である「ヨシダリーダーズ」を今年度発足させました。子どもたちが自分で考え、決め、実行していくことを大切に、子ども同士はもちろん大人と子ども、大人同士もゆるやかに繋がりながら活動を行ってきました。

自分たちのやりたいこと、誰かの役に立つこと、他地域との交流など、これからも楽しさを大切にしながら活動を続けていきます。



◆青少年の居場所支援事業

青少年の居場所支援事業は、継続的に青少年の居場所を運営する団体等の恒常的な活動への助成です。

特定非営利活動法人 スペース（松江市）

事業名：小学生を対象とした長期休暇中の居場所事業

スペースは様々な背景をもつ子どもたちが安心して過ごせるもう一つの学びの場・居場所になることを目指して活動している団体です。学校の長期休み期間の小中学生を対象として、夏の居場所、冬の居場所の活動が無事終了し、3月には春の居場所を予定しています。学習支援や遊び、団らんなどの交流を通して、子どもたちの孤立を防ぐことを目的にしています。居場所とあわせて、食事の提供を行い生活面での支援にも取り組んでいます。夏の居場所のアンケートでは、「毎日行くのを楽しみにしていた」「お昼の提供がとても助かった。次回もぜひ参加したい」といった肯定的な声をたくさん頂いており、スタッフともども大変さはありますがやりがいを感じています。



子どもの居場所フリーダス（松江市）

事業名：不登校の子どもの体験・学習等支援

子どもの居場所フリーダスには、絵を描く子どもたちが多くいます。最近、絵をデジタルで描くことを希望する子が増えてきました。この助成金を活用し、紙に描くよりより自由で、きれいで、楽しく描ける「iPad」を購入しました。

「私は絵を描くのが小さい頃から好きなのですが、ずっと紙とペン、良くてスマホで指で描いていました。ですが、他の絵描きさんがiPadの大きい画面で描いているのがすごく憧れでした。なのでiPadがあるのがすごく嬉しいです。」と、子どもたちが喜んでくれています。